令和２年度　日南市立南郷中学校　学校経営評価書

○　学校経営ビジョン

「自立」「共生」「感謝」をキーワードに、全教職員が【チーム南郷】でキャリア教育を推進し、保護者や地域に信頼される躍動する学校づくりをめざす。

４段階評価　［　４　期待どおり　　３　ほぼ期待どおり　　２　期待を下回る　　１　改善を要する　］

重点目標	評価指標	具体的（数値）目標	方策・手立て	指標別評価	総合評価	結果の考察・分析及び改善策	学校関係者評価及びコメント	
１　学力の向上（知） ◎　自ら学びに向かう生徒の育成をめざす	○　授業の指導法の工夫・改善 〈各種テストの分析・授業研究〉 ○　学びに向かう集団の育成 〈返事と反応・授業を作る姿勢〉 ○　学力を補完する指導内容の充実 〈家庭学習・読書・各種検定〉 ○　特別支援教育の充実	○「４＋４のチェックポイント」および「プラス１チェック」による授業改善をする。 ○　学習態度育成週間を学期１回実施し、学びに向かう集団を育成する。 ○　年５回の定期テストにおいて、テスト勉強計画表を作成し、家庭学習の充実をめざす。 ○　校内読書週間と読み聞かせ期を定期的に設定し、読書に親しむ機会を増やす。 ○　専門機関と連携を図りながら個に応じた教育支援の充実に努める。	○　一人２回の相互参観授業を通して、授業改善の工夫・指導法の工夫・活用を図る。（合計３４回） ○　学習オリエンテーションや研修会のなどを通して、学びに向かう生徒の姿を示す。 ○　目標や目標や目標を立て、学力向上をめざす。 ○　図書委員会を中心に、図書館利用年間目標を昨年より増やす。 ○　南郷関係機関と連携を図る。職員の共通理解を図る。	3 3 2 3 4	3	○　授業改善が問題なくされ、工夫した。 ○　授業を通して学生の学力向上を定期的に検証した。 ○　学力向上のための学習意識の低さ、学力向上をめざす。 ○　目標達成できた生徒は、平均を少し上回った。 ○　学年末に関心を示した生徒が多くなった。 ○　校内全体で読書意欲を高めるよう、図書委員会の呼びかけ、来館者の増加に努めた。 ○　職員の支援会議等を通じて、個に応じた教育支援の充実に努めた。	3.8	○　生徒の学習意欲を高める先生方の工夫がある。授業への熱意と努力が感じられます。ゲームやスマホが家庭に普及する中、自宅で充実した学習に取り組ませるための工夫は大変大きい。生徒自身のモチベーションを上げる取組を引き続きお願いしたいと思います。 ○　指導方法の工夫・改善に取り組まれているようですが、成果が現れていないようです。アンケートでは、生徒と教師の評価が乖離しているものが見受けられます。学習意欲の定着へ繋がる糸口となるのでは、と考えます。 ○　学力向上は、当校において長年の課題となっております。生徒の意識改革には時間がかかると思いますが、今後とも改善を積み重ねていただき、最適な指導をお願いします。 ○　玄関前の図書掲示、とっても温かく感じています。 ○　学力向上は永遠の課題です。学校、先生方の努力に敬意を表します。 読書は学力向上に必要不可欠であると思います。今後も読書意欲向上をお願いします。
２　心の教育の充実（徳） ◎　豊かな人間性、社会性の育成をめざす	○　基本的な生活習慣の育成 〈凡事徹底・規範意識〉 ○　情報モラル教育の充実 ○　いじめ・不登校問題への適切な対応 〈早期発見・教育相談〉	○　あいさつの徹底やルールを守るなど基本的な生活習慣の育成を図る。 ○　インターネット上のトラブルを防止するため、情報モラル教育の充実を図る。 ○　いじめ・不登校問題への適切な対応をとるため、生徒の実態把握と職員の共通実践・共通理解を図る。	○　生活点検の実施や登下校指導、授業時のあいさつ指導、靴並べ指導を実施する。 ○　情報モラルに関する職員研修を行い、学級活動や集会等を通した指導を行う。 ○　生活アンケートや教育相談を実施し、主任会で対応策を検討する。	3 3 4	3.3	○　生活点検の実施や登下校指導、靴並べ指導、基本的な生活習慣の育成を図った。 ○　情報モラルに関する職員研修や集会を通して、学級活動や集会等を通した指導を行った。 ○　生活アンケートや教育相談を実施し、主任会で対応策を検討した。	4	○　登下校時に出会う生徒たちの服装はきちんと整えられており、交通ルールとマナーをしっかりと守ることで、安全で安心な登下校ができていると思います。あいさつもしっかりできる生徒が多く、好印象をもっています。 ○　生徒指導においては、定期的な取組や課題を絞った取組を継続実施した取組が行われているように感じます。そっちに繋がるなのの様なと考えます。引き続き校内外の連携した取組と敏速な対応をお願いします。 ○　生活習慣の育成、すばらしいと思います。いじめの対応、とっても良いと思います。 ○　生徒の気持ちの良いあいさつには頭が下がります。
３　健康・安全教育の充実（体） ◎　心身ともに健康な生徒の育成をめざす	○　健康教育の推進 〈健康相談・肥満防止〉 ○　安心・安全な環境づくりの推進 〈命の教育・防災教育〉 ○　体験的な活動の推進	○　肥満（軽度、高度）の割合を５％以下にする。（令和２年度初め 7.2 ％） ○　常時、天災に遭っても避難できる生徒率 100 ％。 ○年２回の体験的な活動を計画し、防災意識を高める。	○　対象生徒に定期的な体重測定を行い、体育の授業で有酸素運動を推進する。 ○　避難場所、避難経路の確認を全校生徒で行い、自分の命を自分で守れるようにする。 ○　職員を対象にした心肺蘇生法の研修と、火災の避難訓練の際、煙体験を行う。	3 4 3	3.3	○　保健室で養護教諭により、体重測定を行ったり、食生活についての授業で確認をおこなったり、保健体育の授業では、授業を通して運動することの必要性や生活習慣病の予防を促すことができた。 ○　ナロコ禍で集会やイベントが中止・延期となる中で、避難場所確認とかつ避難経路、避難の行い方を確認できた。保護者の引き渡し確認を、保護者と交えて実施できれば、もっと充実すると思われる。 ○　心肺蘇生法の研修は、夏休み期間が短かった為できなかったが、煙体験を行い煙の恐怖を味わうことができた。	4	○　県内でも小中高等学校の子供たちが新型コロナウイルスに感染者の事例が増えてきました。そのような中、貴校では感染者が確認されていないのは、感染症対策にしっかりと取り組まれる成果だと思います。 ○　コロナ禍という、ご苦労されたものと思います。アンケート結果を模索されても、生徒、保護者、教師が高い評価を出されていることから、充実した取組が行えたことが伺えます。 スマートフォン等の使用については、生徒の自覚が少し低いのかもしれません。家庭と連携した取組をお願いします。 ○　コロナ対応、大変でしたね。 ○　今後も肥満割合の減少をよろしくお願いします。
４　家庭・地域との連携 ◎　家庭や地域と連携し、地域に誇れる開かれた学校をめざす	○　家庭や地域への情報発信 ○　授業や学校行事を通した日南ふるさと学の充実 ○　PTA や地域の行事への積極的参加 ○　地域の人材・教育力を授業や行事等での活用	○　学年・学級通信等による定期的な情報発信を目指す。（月１回以上） ○　総合的な学習の時間等を中心に地域に根ざした活動や地域素材を利用した活動を行うことを目指す。 ○　PTA 奉仕活動の参加率９０％以上を目指す。 ○　地域人材を活用した取組として総合的な学習の時間等で年１回の実施を目指す。	○　生徒の様子を写真等で記録・共有し、通信の作成をしやすいようにする。 ○　港の町南郷を知る活動や国文祭の活動等を通して地域について学ぶ教育活動を行う。 ○　参加の呼びかけを学年通信等で行い、連絡を密に行う。 ○　地域コーディネーターを活用し、地域の方々と協力してキャリア教育を充実させる。	4 4 4 4	4	○　定期的な情報発信により「生徒の様子を家庭等に伝える」は「８０％」であった。 ○　コロナ禍の中ではあったが、地域の素材・人材を生かした体験活動はほぼ計画通り実施することができた。「体験活動の充実に努めている」は「８６％」であった。国文祭での石アート作成、南郷を知る活動での郷土料理体験等に取り組んだ。 ○　PTA 奉仕活動の参加率は「９０％以上」であった。 ○　各学年の工夫ある活動により「地域の人材や教育力を積極的に取り入れる」は「８９％」であった。PR プロジェクト、シーカヤック体験、南郷を知る活動、国文祭等に取り組んだ。	4	○　ＵＭＫのみんなのＣＭに南郷中野球部の明るく元気な姿が映し出されており、大変嬉しくなりました。コロナ禍で、これまでのような活動が制限される中、県民全体へ情報を発信できる大変良い取組であると思いました。 ○　この重点目標については、全てにおいて、高評価となっています。コロナ禍の状況で大変すばらしい地域との連携ができたと思います。特に、家庭との連携については、保護者の理解を深めることで、家庭内からの協力を得ることが「学力向上」やその他の重点目標の改善へも繋がっていくものと考えます。そのためにも、今後とも保護者や地域に向けた積極的な情報発信をお願いします。 ○　国文祭、お疲れ様でした。 ○　コロナ禍で家庭状況が厳しくなった生徒等への配慮を宜しくお願いします。

【総　　評】

１　本年度の取組について
　○　コロナ禍でいろいろな活動が制限される状況の中、体育大会や文化発表会等の学校行事を工夫しながら真剣に取り組む生徒、それを支えてくださる先生方の姿に感動しました。地域の人材を生かした教育活動が展開されている。
２　次年度に向けて
　○　生徒の学ぶ意欲を向上させるための授業改善と小学校や家庭と連携し、地域の人材・教育力を生かした魅力ある学校づくりに励んでほしい。